

令和 7 年 9 月 5 日

件名 高崎市タワー美術館収蔵作品展「日本画オノマトペ」

- 1 趣旨 別紙のとおり
- 2 会期 令和 7 (2025) 年 9 月 27 日 (土) ~ 令和 7 (2025) 年 12 月 21 日 (日)
- 3 主催・会場 高崎市タワー美術館
- 4 開館時間 午前 10 時~午後 6 時、金曜日のみ午前 10 時~午後 8 時
(入館はいずれも閉館の 30 分前まで)
- 5 休館日 月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)
*会期中の休館日: 9 月 29 日、10 月 6 日・14 日・20 日・27 日、
11 月 4 日・10 日・17 日・25 日、12 月 1 日・8 日・15 日
- 6 観覧料 一般 200(160)円 大学・高校生 160(100)円
*()内は、20 名以上の団体割引料金およびインターネット割引料金。
*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名は無料。受付で手帳または障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示ください。
*65 歳以上の方、中学生以下は無料。受付で身分証明書 (マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等) をご提示ください。

【本件に関する問い合わせ】

文化課美術館 タワー美術館

電話: 027 -330-3773

日本画オノマトペ

2025年9月27日(土)～12月21日(日)

雨が「ざあざあ」と降る。花びらが「ひらひら」と舞う。「ふわふわ」の毛並み。触れると「ちくちく」しそうなトゲ。作品を鑑賞していて、こういった言葉が浮かんだことはありませんか？日常的に思わず口をついて出る、このような擬音語や擬態語のことを「オノマトペ」といいます。作品と向き合った時、どのようなオノマトペが自分の中から生まれてくるのか。本展覧会では想像力を働かせるとともに、作品を通して自分だけの音を見つけながらお楽しみください。

〈出品作品〉



①



②



③



④

①依田万実(よだ まみ)《Moon Rabbit-風の谷を越えて》2008年 寄託作品

②伊東深水(いとう しんすい)《雪の夜》1925年

③横山大観(よこやま たいかん)《朝陽映島(ちょうようえいとう)》1939年頃

④歌川国芳(うたがわ くによし)《人真根の申 英雄大倭十二士 御曹子牛若丸

(ひとまねのさる えいゆうやまとじゅうにし おんぞうしうしわかまる)》

展覧会概要

会期

2025 年 9 月 27 日(土)～12 月 21 日(日)

開館時間

午前 10 時～午後 6 時、金曜日のみ午後 8 時まで(入館はいずれも閉館 30 分前まで)

休館日

月曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)

*会期中の休館日:9 月 29 日、10 月 6 日・14 日・20 日・27 日、11 月 4 日・10 日・17 日・25 日
12 月 1 日・8 日・15 日

観覧料

一般 200 円(160)円・大高生 160 円(100)円

* ()内は、20 名以上の団体割引料金

*インターネット割引券ご提示で 2 名様まで団体料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方
1 名は無料。受付で手帳または障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示ください。

*65 歳以上の方、中学生以下は無料。受付で身分証明書(マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等)をご提示ください。

*10 月 28 日(火)は群馬県民の日につき観覧料は無料です。

主催・会場

高崎市タワー美術館 〒370-0841 群馬県高崎市栄町 3-23

TEL 027-330-3773/FAX 027-321-7277

関連事業

①学芸員による作品解説会

日時 | 9 月 27 日(土)、10 月 12 日(日)・10 月 29 日(水)、11 月 9 日(日)・11 月 29 日(土)、
12 月 20 日(土) / 午後 2 時～

参加費 | 無料(要観覧料) 申込 | 不要

②対話型鑑賞イベント「おしゃべり鑑賞会」

日時 | 12 月 7 日(日) 午後 2 時～3 時、12 月 12 日(金) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分

内容 | 展示作品をみながら、感じたこと、考えたことなど、あれこれおしゃべりをしてみましょう！主に県内で活躍する「対話型アート鑑賞ラボ」のメンバーが、みなさんのおしゃべりをお手伝いします。

定員 | 各回 8 名(先着) 参加費 | 無料(要観覧料)

申込方法 | 9 月 27 日(土)午前 10 時から電話で受付(TEL 027-330-3773)

■お問合せ 高崎市タワー美術館

〒370-0841 群馬県高崎市栄町 3-23 Tel.027-330-3773/Fax.027-321-7277

E-mail : tower-museum@city.takasaki.gunma.jp

ひ
ら
り



日本画 オノマデ



どぶん

ごうごう



2025.9.27 SAT — 12.21 SUN

開館時間：午前10時～午後6時、金曜日のみ午後8時まで（入館はいずれも閉館30分前まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）

*会期中の休館日：9/29、10/6・14・20・27、11/4・10・17・25、12/1・8・15

観覧料：一般200(160)円・大高校生160(100)円

*（ ）内は、20名以上の団体割引料金

*インターネット割引券ご提示で2名様まで団体割引料金でご覧いただけます。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名は無料。
受付で手帳もしくは障害者手帳アプリ「ミライロID」をご提示ください。

*65歳以上の方、中学生以下は無料。

受付で身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、保険証、学生証等）をご提示ください。

*10月28日（火）は群馬県民の日につき観覧料は無料です。

主催・会場：高崎市タワー美術館 〒370-0841 群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773 / FAX 027-321-7277

左上：歌川国芳《人真根の串 英雄大倭十二士 御曹子牛若丸》（部分）高崎市タワー美術館蔵／「ひらり」

右上：横山大観《朝陽映鳥》（部分）1939年頃 高崎市タワー美術館蔵／「どぶん」

左下・右下：富田孫仙《壺を渉る鹿》（部分）1931年 寄託作品／「ごうごう」「タンタンタン」

高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART





2



4



5

雨が「さあざあ」と降る。花びらが「ひらひら」と舞う。「ふわふわ」の毛並み、触れると「ちくちく」しそうなトゲ。作品を鑑賞していて、こういった言葉が浮かんだことはありませんか？日常的に思わず口をついて出る、このような擬音語や擬態語のことを「オノマトペ」といいます。作品と向き合った時、どのようなオノマトペが自分の中から生まれてくるのか。本展覧会では想像力を働かせるとともに、作品を通して自分だけの音を見つけながらお楽しみください。

日本画 オノマトペ



3



1

- 1 伊東深水《雪の夜》1925年 高崎市タワー美術館蔵
／「ぬくぬく」と温まる
- 2 依田万実《Moon Rabbit 風の谷を越えて》2008年 寄託作品
／うさが「びょん」
- 3 田淵俊夫《めひしば》1975年 高崎市タワー美術館蔵
／「そよそよ」と葉が揺れる
- 4 奥田元宋《月山秋煙》1996年 寄託作品
／水面が「きらきら」輝く
- 5 歌川国芳《浮世又平名画奇特》高崎市タワー美術館蔵
／「がやがや」騒がしい

関連事業

① 対話型鑑賞イベント「おしゃべり鑑賞会」

日 時 | 12月7日(日)午後2時～午後3時、

12月12日(金)午後6時30分～午後7時30分

内 容 | 展示作品をみながら、感じたこと、考えたことなど、あれこれおしゃべりしてみましょう！主に県内で活躍する「対話型アート鑑賞ラボ」のメンバーが、みなさんのおしゃべりをお手伝いします。

定 員 | 各回8名(先着)

参加費 | 無料(要観覧料)

申込方法 | 9月27日(土)午前10時から電話で受付(TEL 027-330-3773)

② 学芸員による作品解説会

日 時 | 9月27日(土)、10月12日(日)・10月29日(水)、

11月9日(日)・11月29日(土)、12月20日(土)

午後2時～

参加費 | 無料(要観覧料) 申込 | 不要

高崎市美術館 展覧会のお知らせ

企画展
「福沢一郎の旅行カバン
画家とゆく世界の旅」

2025年

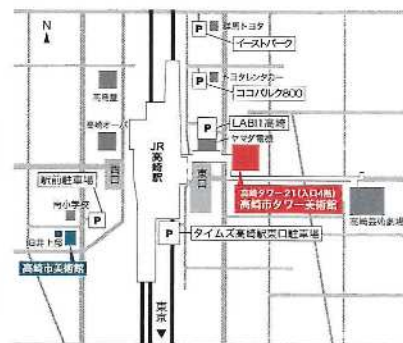
10月18日(土)～

12月21日(日)

お問い合わせ

高崎市美術館

TEL 027-324-6125



交通案内 | JR高崎駅東口より徒歩2分

駐 車 場 | 上記5カ所の駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示等していただく、1時間の無料駐車券をお渡しいたします。



高崎市タワー美術館
TAKASAKI TOWER MUSEUM OF ART
群馬県高崎市栄町3-23 TEL 027-330-3773